

NASUSHIOBARA Newsletter

広報なすしおばら

10 / 5

October 2018 No.331

特集

子どもを取り巻く環境



子ども虐待防止 オレンジリボン運動

オレンジリボン運動は、子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。

市では目の不自由な人のために音訳版広報を発行しています。詳しくはシティプロモーション課までご連絡ください。

じどう - ぎゃくたい
【児童虐待】

親などの保護者や、その同居人などが児童に虐待を加えること。児童の身体・精神に危害を加えたり、適切な保護・養育を行わないこと。→児童虐待防止法

特集
子どもを取り巻く
環境

今、子どもたちの身の回りでは何が起きているのか考えていきたい

市子どもの権利条例(一部抜粋)

子どもは、一人ひとりかけがえのない存在である。
一人の人間として尊重され、よりよい環境の中、健やかに成長していくことが大切にされなければならない――



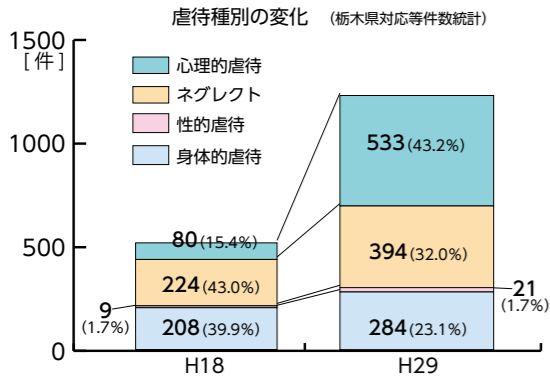
虐待にさらされる子どもたち

「もうおねがい ゆるして」。今年3月、東京・目黒にて虐待で命を奪われた5歳の女の子。ノートにはひらがなで反省文が綴られていたという。親の残忍な暴力と子どもへの無邪気な笑顔を伝えるテレビから、思わず目を背けた人もいるだろう。虐待で命を奪われる子どもは年間50人超。今日もどこかで子どもたちが虐待にさらされている。

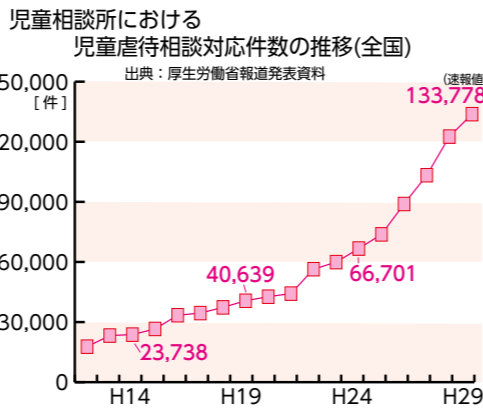
核家族化、雇用の不安定化、地域のつながりの希薄化など、急速に変化する社会形態。子育て環境も変わり、家庭は地域社会から孤立し、親の負担は増大傾向にあるといわれる。それに伴い増加している虐待の件数。全国の児童相談所への相談件数は、平成29年に13万件に達し、ここ10年で3倍にもなっている。

身近な場所にも広がる虐待

市子ども・子育て総合センターは、県北児童相談所と連携し、虐待防止に取り組んでいる。昨年に両機関が受けた市内の相談件数は239件。年々増加の一途をたどっている。決して、テレビの向こう側の問題ではない児童虐待。子どもの未来を守るために、できることは何だろうか。



心理的虐待：言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い など
ネグレクト：家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする など
性的虐待：子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触る など
身体的虐待：殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる など



子ども・子育て総合センターは、子育て中の保護者からの相談やひとり親家庭への支援、子どもの発達支援など子育て全般を広く支援する総合窓口です。子どもの行動や成長に関する相談からDV・離婚問題に至るまで、ありとあらゆる相談を年間3千件以上受け付けています。最近はそのうちの3%程度が虐待に関する相談という状況です。

また、昨年度、当センターに寄せられた虐待通告の件数は59件。今年8月末までに44件ほど受け付けており、昨年よりも多くなることが見込まれます。近所の人から「激しい泣き声がする」などと通告をいただくことも多く、皆さんの虐待に対する関心の高まりを感じています。

最近では、身体的虐待よりも心理的虐待が多く、子どもの目の前で夫婦のけんかをしたり、子どもに対して暴言を吐いたりといったケースが増えています。親は「しつけ」のつもりであることも多く、職員が通告を受けて家庭訪問をすると、親はその状況を受け入れがたいことが多いです。虐待を受ける子どもの年齢は、0歳～6歳までの未就学児が最も多く、次に小学生、中学生と続きます。相談内容によって、見守りが必要



市子ども・子育て総合センター
菊池 紀男 所長
Norio Kikuchi

な場合は、相談員が定期的に家庭を訪問したり、医療機関やカウンセリングを勧めるなどの支援をしています。

子どもが生まれた時から大人になるまで、支援するのが当センターの役割。子どもたちがより良い人生を歩めるようお手伝いをしています。何か困り事や悩みがありましたら、気軽に相談してください。また、周りに困っているようなお母さん・お父さんがいましたら、こういう場所があることを教えてあげてください。

子育てのあらゆる相談の受け付け
子ども・子育て総合センター
 子育ての悩みや困りごとがあれば、何でも相談してください。
 ▶とき 午前8時30分～午後5時15分
 ▶ところ 西那須野庁舎2階
 ▶問い合わせ ☎0287(46)5537

虐待かも…そんな場面に遭遇したら
児童相談所共通ダイヤル189
 ☎189にかけると、近くの児童相談所につながります。虐待かもと思ったら、いち早く電話をしてください。



対談のコーディネーター

市子ども・子育て総合センター

菊池 紀男 所長

市教育委員会

大宮司 敏夫 教育長

深刻化する虐待 現状×対策

本市で虐待の対応にあたっている市子ども・子育て総合センターと県北児童相談所。地域の実情を熟知している民生委員・児童委員。そして、本市の教育をつかさどる教育委員会。それぞれのトップが市内の現状と対策について話し合った。



県北児童相談所

直井 茂 所長

市民生委員児童委員協議会連合会

大森 利男 会長

県北児童相談所
直井 茂 所長 Shigeru Naai



増加する虐待 対応の難しさ

菊池 児童相談所への虐待の相談件数はどのような状況ですか。

直井 年を追うごとに件数は右肩上がりです。リスクの高い事案の対応に取り組んでいる状況です。

大宮司 教育委員会定例会への虐待の報告も増え続け、耳を疑うような事案も多くあり、状況は深刻さを増していると感じています。

大森 近所で深夜に子どもが泣いている、と民生委員にも連絡があります。難しいのは、ただの夜泣きと虐待を判別する手立てがないこと。訪問をしても「誰がそんなことを言っているんだ」と近所で対立しかねません。

菊池 現場の民生委員から通報をもらうケースはあります。我々も現場に行って調査し、注意喚起する。重篤な場合には児童相談所に対応を願います。一方で、地域で虐待が見えにくいこともあるのかと思います。

大森 子どもがSOSを出してくれないんですね。子どもは「自分に結び付けるか。子育ての一義的責任は親にあることは忘れてはいけません、支援の充実は必要です。」

大森 高齢者の生活支援は充実している気がしますが、子育て世代への支援はありますか。

菊池 家庭を訪問しての育児・家事援助は限定的にありましたが、NPOによる新たな家事支援(Pマーク)の取り組みが11月から始まる予定です。

直井 虐待対策は対処療法に終始しがちなので、そうした支援は本当に有効だと思えます。また、市内に2か所ある居場所づくり(居場所)の取り組みも重要です。宿題をみてもらったり、ご飯を食べたり、お風呂に入ったという当たり前の体験が、子どもの育ち、自立に重

が悪いから、しょうがない」と思い、隠しているでしょう。私もそう痛感する現場に遭遇しました。

求められる支援の充実

菊池 虐待は深刻化する前の早期対応が重要です。教育現場ではどんな取り組みが可能ですでしょうか。

大宮司 学校には早期発見と通告を徹底させています。核家族化が進み、育児のノウハウが継承されにくい現在。親の不安を受け止め、育児の素晴らしさを伝える機会を増やすことも一つの対策だと思います。長期的な視野で、妊娠から出産、育児を一貫して支援する体制(Pマーク)が重要だと考えています。

直井 支援が点でなく、線となれば素晴らしいですね。また、昔の近所付き合いでは「昨日どうしたの？」という会話や、子育ての悩みを相談する機会がありました。子ども・子育て総合センターに相談することもできますが、地域でできるもう少し別のアプローチもあると良いのですが。

大森 地域では近所のつながりを強くしようとして、「見守り隊」結成の動きが広まっています。近所に関心

背景には貧困の問題も

大森 地域の現状をみると、経済的な困窮も背景にある気がします。一生懸命働いても生活が改善せず、時間的にも余裕がなくストレスが蓄積する状況だと思っています。

菊池 いわゆる「子どもの貧困」問題ですね。全国調査では子どもの貧困率は13・9%となっており、割合だけで考えると1クラスに4、5人はいる計算です。市内では、どのような状況でしょうか。

大宮司 年々、本市でも割合が増え、貧困の度合いも進行していると感じます。その子たちが学ぶ環境を整えるため、小中学校入学前に交付する「新入学準備金」を含めた就学援助や奨学金の制度の充実などに取り組んでいます。

歯を磨いたり、お風呂に入ったり。当たり前を体験させる事が重要

直井 貧困の継続は、子どもの成長へのダメージが極めて大きい。特に情緒的な成長が阻害され、自己肯定感が低かったり、対人関係が結ばなかったり。経済的な

地域のつながりを強化し、虐待の防止につなげたい

市民生委員児童委員協議会連合会
大森 利男 会長
Toshio Omori



をもって、家族構成なども分かっているならば、万が一の時に手を差し伸べられる。つながりが強くなれば、虐待も防げると思います。

菊池 見守り隊などの活動で地域のつながりを強化。さらに、児童相談所と行政が協力し、妊娠から育児まで一貫して支援し、虐待を防ぐことが大切ということですね。

大宮司 親が一日働いて帰宅後、家事をこなし、子どもの面倒をみる。その精神的に余裕が無いことが原因となることも多いと思います。その前にいかに周りで支え、支援

貧困が「心の貧困」に繋がることが強く懸念しています。

大森 我々もその問題に対処したいのですが、貧困も外から見えにくく、なかなか情報が得られません。情報を学校などの関係機関と共有できる仕組みがあると良いのですが。

大宮司 今年からスクールソーシャルワーカーを増やしました。今後は民生委員・児童委員などと協力し、子ども一人一人に対応していくことが理想です。子どもの貧困は、子どもたちには何の責任もありません。どの子にも等しく未来はあります。大人が手を差し伸べ、その子の未来を守ってあげなければならぬと思います。



市教育委員会
大宮司 敏夫 教育長
Toshio Daiguji

※眠る赤ちゃんの周囲を装飾し、アートのような写真を撮ること。



室内はとても広々としていて、子どもたちが駆け回っても安心。



今年4月にリニューアルオープンし、パン屋の跡地に移転。

つどいの広場 ま〜る
▶開設時間
 月〜金曜 午前10時〜午後3時
 第一土曜 午前10時30分〜午後1時
▶ところ 南郷屋2-145-10
▶問い合わせ ☎0287(36)6840
 ☒marumarutudo@soleil.ocn.ne.jp

「ま〜る」を開設して6年。月3回の赤ちゃんの日はネンネアート※や

集う広場で、自分にあつた子育てを一緒に探しましょう。

「ま〜る」は、子育て中の家族と子どもたちのための広場。利用登録などは不要で、開設時間中は自由に入りでき、お弁当を食べてもOKです。おじいちゃんやおばあちゃんも来ることがあります。他の地域から移り住んできた人の利用が多く、「もつと早くこの場所を知りたかった」と頻りに利用してくれるようになった人もいらつしやいます。以前、あるママから「私にとって第2の家のようでした」と声をかけてもらったことがあり、本当に嬉しかったのを覚えています。

一人で抱え込まないで 色んな人の力を借りながら子育てを——

最近のママたち。子育ての情報に溢れています。子育てのことも多いので、悩むことも多いでしょう。「ま〜る」には、私たちスタッフの他にも、同じような体験をした先輩ママたちもたくさんいます。子育て仲間が集う広場で、自分にあつた子育てを一緒に探しましょう。



NPO法人 子育てほっとねっと つどいの広場「ま〜る」担当 高根沢 明子 さん

子を遊ばせながらママも交流



子どもたちの 笑顔を守る

かつては祖父母や隣近所に支えられていた子育ては、いつの間にか専ら親だけで行うように。専業主婦が家事全般を担った時代は終わり、家計を維持するための共働きが増加。子育ての負担や不安、孤立感を感じる家庭は少なくない。そんな中、行政だけでなく、NPOや子育てボランティアなど新たな担い手が連携しながら、子育て支援が進められている。

妊娠期から子育て期全般を一貫して支援
 子育て世代包括支援センターでは、子どもが健やかに成長し、家族が安心して子育てできるよう、切れ目なく支援しています。いつ・どのような支援が受けられるかは「市のびのび子育て応援ガイド」をチェック。右の二次元コードからも確認できます。



—— 子どもたちの未来を 明るく照らすために ——

安心して居場所を目指して
 家庭と仕事の両立が難しくかったり、夫婦間で意見の食い違いがあったりと、誰もが悩む子育て。孤立すると、心身に不調をきたすこともあります。やぎハウスは、保護者が病気などで子育てが難しい時に、市の委託で子どもを預かっています。また、放課後に小中学生を送迎して、一緒に夕ご飯を食べたり、勉強したり、遊んだり。さらには、お風呂に入れ、洗濯をすることもできます。この場所には、みんなで食べ、学び、思いっきり遊びながら、くつろげる「子どもたちの居場所」。家のように安心できる場所を目指しています。ここでの食事の一部は、産直や食料品店などからご支援を受けて、旬の食材を活用しながら提供しています。



アットホームな雰囲気のある室内。遊びを工夫しながら、みんなで楽しむ。



空き家に少しずつ手を加え、子どもたちの居場所「やぎハウス」に。

孤立しがちな子育て家庭を いかに地域で支えられるか——



NPO法人 すすく子育て やぎハウス 八木澤 秀 理事長

一昔前までは、地域のお節介なおじちゃん・おばちゃん子育てを支えていました。かつては近所で解決できた悩みが、今は誰にも言えない心配事になりました。子育て家庭を見守り、声かけができれば、子育ての不安や葛藤も減らせるでしょう。そうした地域のつながりを取り戻すことが、子どもの未来を守ることに繋がると思っています。

たちに思いやりの気持ちや人との交流を楽しむ心が芽生え、成長を感じることも多くあります。互いの信頼が生まれつつあり、子どもたちも本音を話してくれるようになってきました。それにより、適切な対応が取れることもあります。

すすく子育て やぎハウス

▶ところ 松浦町121-42
 <事業の問い合わせは下記まで>
 ▶問い合わせ
 ○子ども・子育て総合センター ☎0287(46)5537

子育ての助けを欲しい人（利用会員）と、子育ての援助ができる人（サポート会員）をつないでいる「ファミリー・サポート・センター」主に子育てを終えた世代がサポート会員となり、子どもの送迎や一時的な預かりなど、多忙な子育て家庭をサポートしている。利用会員に比べて、サポート会員の登録者数の伸び悩みが課題だ。当事業の運営を市から任されているのはNPO法人「子育てほっとねっと」。親子つどいの広場「ま〜る」や「ほっぺ」の運営も担いながら、11月からはホームスタートという新たなサービスも開始させ、本市での子育て支援の一翼を担っている。

また、昨年の7月から子どもの放課後の居場所づくりや子どもの一時的預かりに取り組んでいるのが、NPO法人「すすく子育てやぎハウス」。昨年2月に設立されたばかりの新たな子育て支援の担い手だ。

孤立しがちな現代の子育ては、NPOやボランティアなど新たな担い手たちにより支えられている。多くの大人の温かい手に包まれながら守られる子どもの未来。今もどこかに、あなたが手を差し伸べてくれるのを待っている子どもがいる。

子育て支援の多様化

あなたにも出来る事がきっとある。子どもの未来をみんなで守ろう



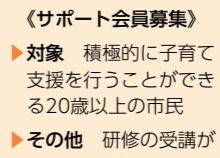
養育里親

▶養育期間 児童の社会的自立が可能になるまで、または、保護者が児童を引き取れるようになるまで
 ▶その他 6日間の研修があります
 ▶申し込み・問い合わせ ○東北児童相談所 ☎0287(36)1058



ファミサポ

保育園や学校、習い事へ子どもを送迎したり、預かったり。子育てを支援できる人（サポート会員）を募集中。



ホームスタート

子育て中の孤独感や不安を軽減するためにボランティア（ホームビジター）が未就学児がいる家庭に寄り添います。



ホームスタート

▶内容 1回2時間程度、4回訪問。お母さんの話を聞いたり、一緒に家事育児を行う
 ▶対象 子育て経験のある人で、8日間の研修を受けた人
 ▶問い合わせ ○NPO法人 子育てほっとねっと ☎090(9230)8755



1 防災ヘリによる救助訓練。その正確な動きに参加者たちもついカメラを向けた 2 重たい土のうもみんな力で合わせればあつという間に積みあがる 3 旧寺子小での避難所訓練にも多くの人に参加した



那須水害から20年。私たちは忘れない ～総合防災訓練～

残暑が厳しい8月26日、市総合防災訓練が行われました。この日は、那珂川河畔運動公園で自衛隊や防災ヘリも参加して大雨災害に対する訓練を実施。また、旧寺子小学校でも避難所の運営訓練が同時進行で行われ、両会場で合わせて1,000人を超える市民が参加しました。折しも今年、那須水害の発生から20年。参加した人たちは、災害に対する心構えを新たにしていました。



これからもお元気で ～100歳以上の高齢者をお祝い～

市内の100歳以上の人の長寿を祝うために、市長が訪問し、敬老祝い金と祝辞を贈呈しました。市内には来年4月1日までに100歳以上となる人が83人おり、その内5人を市長が訪問。9月3日に訪問した今年度100歳となる君島貞策さんの家では、家族4世代が一同に集まりお祝い。君島さんは、歌を聞いたり字を書くことが好きだそうで、「100歳を迎え、今後ますます元気でやっていきたい」と話してくれました。



那須塩原の牛乳は最高だも～ ～牛乳の日 牛乳で乾杯～

9月2日は「那須塩原市牛乳の日」です。この日、那須塩原駅西口前広場で開催された「なすしおばらマルシェ」の会場で、牛乳の日のイベントが行われました。会場を訪れていた人たちが市長の音頭で地元産の牛乳で乾杯を行ったほか、市内の若手農業者たちや那須清峰高校、那須拓陽高校が設けた牛乳やオリジナル乳酸菌飲料の無料試飲コーナーも多くの人でにぎわいました。訪れた人たちは牛乳を飲み比べて、その味を堪能していました。



秋の気配を感じられるようになった9月9日、山間の温泉街にお囃子の軽快な音色が響き渡る。今年も塩原温泉にまつりの季節がやってきた。地域の若者たちが中心となって制作をしてきた自慢の山車が街中を練り歩く。
 このまつりは、かつて塩原に御用邸があった頃、人形を乗せた山車を作って大正天皇の即位を祝ったのが始まりとされる。大正から昭和、平成と時代は変わっても、常に多くの笑顔が山車の周りに溢れていた。

大正・昭和・平成… 時代を超えて引き継がれる 塩原温泉まつり





地域と学校の絆を深めよう ～三島中 さわやかサミット～

未来を担う子どもたちを地域全体で育てていこうと今年度から始まった地域学校協働本部。8月30日、地域の人や小中学生が総勢60人ほど集まり三島中学校で「さわやかサミット」が開催されました。この日のテーマは“あいさつでつくる地域の絆”。子どもたちが地域の人たちと積極的にあいさつを交わすためにはどうしたら良いか、各班で意見が出されました。多くの子どもたちが大人の前で堂々と意見を述べ、実りの多いサミットとなりました。



1 生徒会のメンバーが事前アンケートの結果を発表 2 住む地域や立場が異なる人で構成されたグループ 3 大勢の人を前に小学生が立派に発表 4 各班では中学生が司会となり議論をまとめていきます



子どもたちを地域の手で育てよう ～西那須野地区 自然体験塾～

9月8日に三島神社で自然体験塾が開催され、50人を超える地域の子子どもたちが大集合。竹などを手作業で加工しながら、地域の世代間の交流を図る取り組みで、今回で第66回目を数えます。

大人が手作りで設置した竹にそうめんが流れると、子どもたちは大はしゃぎ。今回で5回目の参加という大武咲磨くん(三島小・4年)は「流しそうめんが毎年楽しみ。とっても美味しい」と目を輝かせて教えてくれました。



新しい野球場の記念すべき第1球 ～くろいそ運動場野球場リニューアル～

供用開始から43年が経過し、老朽化が進んでいたくろいそ運動場野球場。観覧席の設置やスコアボードの電光掲示板化など2年にわたる改修を経て、9月1日リニューアルオープンを迎えました。

この日はオープンを記念して、関甲新学生野球公式試合を開催。その始球式に登場したのは、市内の学童野球の9人の子子どもたちです。この日は1球だけで終了でしたが、新しくなったグラウンドでのプレーが待ちきれない様子でした。



響け、私たちのハーモニー ～中学校合唱フェスティバル～

9月17日、黒磯文化会館の大ホールに美しい歌声が響き渡りました。市内の中学校の合唱部が一堂に集う中学校合唱フェスティバル。5回目を迎えた今年には9校が参加し、日ごろの練習の成果を披露しました。本市は中学校の合唱が盛んで、高林・三島の両校が関東大会に出場しています。最後は参加者全員による全体合唱。370人の迫力ある歌声に、会場内の人たちは魅了されていました。



ベストを尽くして がんばるぞ ～市小学生陸上競技記録会～

9月6日、にしなすの運動公園を会場に行われた市陸上競技記録会。台風一過で晴天に恵まれたこの日は、市内の小学生が総勢900人ほど集まり、各種目で熱戦を繰り広げました。

夏休み期間中から練習を重ね、それぞれが持つ力を精一杯出し切った子どもたち。会場の周りでは保護者はもちろん、同じ学校の友人を応援する子どもたちの姿が数多く見られました。



世界レベルの泳ぎを伝授

～ブリヂストン×オリンピック×パラリンピック a GO GO!～

にしなすの運動公園を会場に9月24日に行われた「ブリヂストン×オリンピック×パラリンピック a GO GO! in 那須塩原」。この日は、オリンピックやアスリートと一緒に運動会をしたり、さまざまな種目のレッスンが行われました。水泳レッスンでは、オリンピックで複数のメダルを獲得している本県出身の萩野公介選手が世界一の泳ぎを披露。参加した子どもたちは、萩野選手から熱心に泳ぎを学んでいました。



歴史を語り継ぐ 子どもたちも熱演 ～那須野の大地～

今年5月に日本遺産に認定された明治期の那須野が原開拓。その歴史を陰で支え、数々の苦難を越えて土地を切り開いた名もなき先人たち。その物語を今に伝える創作劇「那須野の大地」が9月16日、三島ホールにて第19回目の上演を迎えました。

この日のために練習を重ねてきた“市民劇団なすの”。昼の部・夜の部ともほぼ満員の観客は、臨場感あふれる名演を観ながら、当時の情景に想いを馳せているようでした。

01

10月27日(土)・28日(日)に
那須野巻狩まつりを開催します

◆1日目◆ 大将鍋出陣式



- ◆とき◆ 10月27日(土) 午前9時30分～午後3時
- ◆ところ◆ 那須塩原駅西口駅前広場
- ◆内容◆
 - ・大将鍋出陣式
 - ・巻狩鍋の販売
 - ・みこしパレード
 - ・巻狩太鼓
 - ・巻狩踊り
 - ・地元商店の出店 ほか

◆2日目◆ 本まつり



- ◆とき◆ 10月28日(日) 午前9時～午後3時
- ◆ところ◆ 那珂川河畔運動公園
- ◆内容◆
 - ・巻狩鍋の販売(10種類)
 - ・巻狩踊り大会
 - ・巻狩ショー
 - ・太鼓の響演(黒磯巻狩太鼓、田島太鼓 龍巳会)
 - ・小島よしおライブショー
 - ・キッズダンス(Dream Treasure)
 - ・苗木無料配布(ハナモモ400本)
 - ・ひたちなか市物産コーナー
 - ・物産企業フェア・産業交流フェア
 - ・モンゴルパオ組み立て・展示 ほか

02

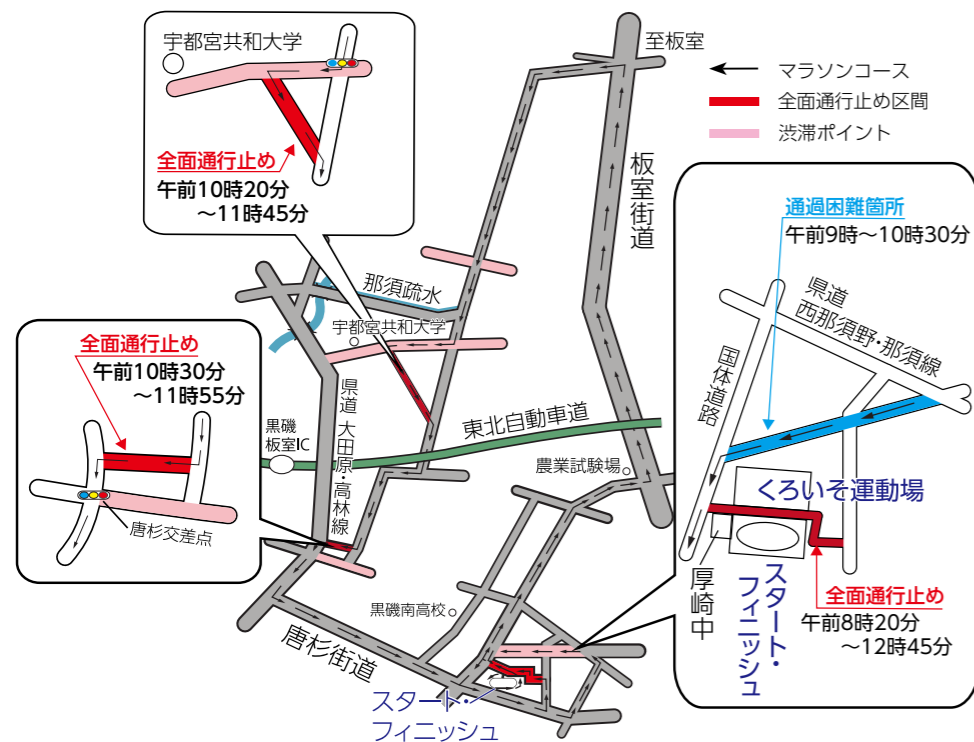
11月3日(土) 那須塩原ハーフマラソン
交通規制に協力してください

ハーフマラソンは、市内道路をコースを使用するため、車両などの交通規制が行われます。ご不便をおかけしますが、理解と協力をお願いします。

◆とき◆ 11月3日(祝) 午前8時20分～午後0時45分

◆内容◆ 車両片側交互通行または全面通行止め

◆問い合わせ◆ 国土スポーツ振興課 ☎0287(37)5439

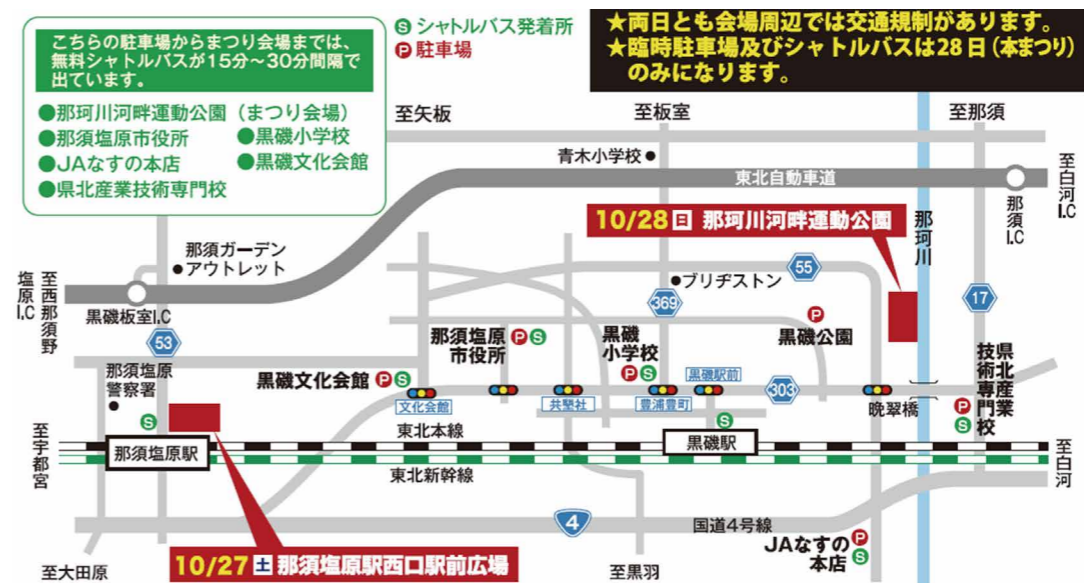


特に唐杉交差点周辺、くろいそ運動場周辺は大変混雑するので、注意してください。場所や競技の状況により規制時間・内容が変わります。現場係員の指示に従ってください。

みんな
シャトルバスを
使ってね!



★両日とも会場周辺では交通規制があります。
★臨時駐車場及びシャトルバスは28日(本まつり)のみになります。



※大将鍋出陣式、本まつりの開催に伴い、会場周辺で交通規制があります。
※28日の本まつりでは、例年会場近くの駐車場が大変混み合います。
周辺駐車場から無料のシャトルバスが運行されるので、利用してください。
※まつりの詳細については、市ホームページや新聞折込チラシなどで順次お知らせしていきます。

ほーむぺーじ
はこちら!

▶問い合わせ
那須野巻狩まつり実行委員会事務局(国土商工観光課内)
☎0287(62)7154

03

平成30年北海道胆振東部地震
災害義援金を受け付けています

9月6日に北海道胆振地方中東部を震源とした地震災害により被災した人を支援するため、義援金を受け付けています。(受け付けは現金のみ。領収書などは発行しません)

◆ところ◆ 市役所本庁舎、西那須野庁舎、箒根出張所、各公民館

※塩原庁舎は、庁舎内の社会福祉協議会で受け付けています。

◆受付期限◆ 10月12日(金)

◆問い合わせ◆

○本総務課 ☎0287(62)7150



04

市オリジナルデザインの
婚姻届や出生届を使ってみませんか

人生の大きな節目である結婚や出産をお祝いするとともに、市への愛着を持ってもらうために、市オリジナルの婚姻届と出生届を作成しました。ぜひ利用してください。

※出生届は、事前に出産予定の医療機関に取り扱いの有無を確認してください。

◆配布場所◆

本市民課、国土市民福祉課、国土総務福祉課、箒根出張所

◆問い合わせ◆

○本市民課 ☎0287(62)7133



SARAH CAFE

▶ 問い合わせ
SARAH ☎ 0287(74)3300



↑ 薬店「SARAH」に並ぶハーブの数々。一人一人の健康状態に合わせたハーブを提案している。
↓ 80種類のハーブから作られる「オリジナルブレンドハーブティー」。



Interview 店長 中村久乃氏

薬店の新たな挑戦——

(有)日本メディカルは、保険調剤薬局を運営しているほか、漢方、ハーブ、アロマを取り扱っている「SARAH」という薬店を営業しています。日ごろ、お客さまの健康状態に合わせたハーブ類を販売していると、「飲んでみたい」との声を多くいただきます。そこで“健康への第一歩は食事”ということを実感してもらい、お客さまの健康のお手伝いをするため飲食店をやってみようと思いを決しました。

80種類のハーブからお客さまに合った一杯を——

ハーブ&ナチュラルをコンセプトとした心と体に優しいカフェを目指しています。80種類のハーブからお客さまの悩みに合わせたオリジナルブレンドハーブティーや薬膳を気軽に取り入れてもらう薬膳ランチなどを提供する予定です。

誰でも気軽に入れる薬膳のお店——

薬膳やヘルシーメニューと聞くと、“ハードルが高い”、“あまりおいしくなさそう”感じるかもしれませんが、誰でもとても気軽に入れる敷居の低いお店にして、おいしいと思ってもらえるように頑張ります。また、地元のイベント・行事に積極的に参加して地域の皆さまとの親睦を深めながら、さまざまなことにチャレンジしたいです。

地域と連携し、黒磯駅前の活性化に取り組みます！

9月9日、黒磯駅前を歩行者天国にして行われた「もったいない市」。雨がぱらつく時間帯もありましたが、多数の来場者で賑わったイベント会場では、捨てられてしまう“もったいない”段ボールを利用した迷路やせっかく覚えた学校の校歌を歌う機会がないのは“もったいない”との思いから、地元の小中高校生などによるコンサートが行われました。

当日はフードコート出店事業者のお披露目会も同時に行われました。「Circle ~サークル~」は和食の達人がその場で調理した熱々のだし巻き玉子の無料試食、「SARAH CAFE」は自慢のハーブドリンクやオーガニックワインの販売など、それぞれの事業者の特徴を生かし、お披露目会は大盛況となりました。

この2事業者は、来年3月以降にオープン予定の「くるる」で行われるイベントはもちろん、黒磯駅前で行われるイベントにも積極的に参加し、黒磯駅前の活性化に取り組んでいきます。

▶ まちなか交流センター「くるる」についての問い合わせ
☎ 0287(62)7154



まちなか交流センター「くるる」フードコート出店事業者**決定!**

まちなかに新しい風を

黒磯駅前に整備中のまちなか交流センター「くるる」内のフードコートに出店する事業者が決定しました。和食の名店「和ところ正木」が監修する「Circle ~サークル~」、(有)日本メディカルが新たに飲食業界へチャレンジする「SARAH CAFE」。各店舗のこだわりやオープンに向けた意気込みを紹介します。

Circle ~サークル~

▶ 問い合わせ
和ところ正木 ☎ 0287(65)3308



Interview サークルリーダー 正木百合子氏

和食の名店が監修する「安らぎの場」——

私たち夫婦は東京で「割烹正木」を10年間営んだ後、6年前から私の故郷・那須塩原市へ移住してきました。その後、豊富な自然が生み出すこの土地の米や野菜を美味しく提供できるように「和ところ正木」を開業、営業しております。

子どもたちの心・体づくりには安心できる場所や食事が必要だと思います。そんな子どもたちのため、また、子育てに忙しいお父さんお母さんのために安心して食事のできる場所を作ろうと、今回の出店を決めました。

生産者から直接仕入れる食材へのこだわり——

生産者の気持ちを大切に、安全安心な手作りの料理を提供します。旬の食材をふんだんに使った「季節のご膳」を始め、子育て世代を応援する「季節のお惣菜」やティータイムには「ワッフル」などを提供する予定です。

幅広い世代が交流できる食堂を目指して——

「くるる」は世代を問わず、誰でも時間を気にせず交流できる場所です。「Circle」もそのコンセプトに賛同し、地域内外の幅広い世代が交流できる食堂を目指していきます。皆さまのためのオープンな施設ですので、ぜひいらしてください。



「季節のご膳」ではその時の旬な食材が味わえる。(写真はイメージ)



「Circle」を監修している「和ところ正木」。料理人は多数の雑誌に取り上げられるなど一流の腕前を持つ。



お便りBOX

皆さんからいただいたお便りを紹介します。
今後の広報誌づくりの参考にさせていただきます。

◆ 広報8月5日号の珍百景で、ツバメの首の下の模様が違っただけがよく気が付きましたね。これは全国版に載せたいですよ。素晴らしい写真が撮られて大変良かったです。私も何かを見つけようと思っても、なかなか発見できないもんですね。

T・Iさん(西新町)70代女性

◆ 現在、自然災害が毎年起きています。広報8月5日号の表紙「那須水害」。あれから20年という年数がたった今、その時の痛々しい現状を思い出ししてしまいました。わたしの住んでいる地域は大きな被害を受け、たくさんの人たちに助けていただいていたことを感謝しています。これからも災害は毎年やってくるので、被害にあった方たちに救いの手を伸ばしていきたいです。

ふるぽん大好きなMさん(寺子) 40代女性

◆ 去年は台風で中止になった巻狩まつり、とっても楽しみにしています。そして事故や怪我が

◆ いつもメール那須塩原を聞いてますが、あの時間がすごく好きです。岡田眞善さんの語り口、そして、市民でなくても通用する中身が市外の人からも羨ましがられます。これは那須塩原市民としての誇りです。番組に

M・Yさん 30代女性

◆ ゆくバス路線再編の内容(変更箇所)ですが、一度読んでいただけでは理解できない箇所もありました。現在より便利になればと思います。車での生活から公共交通を利用した生活が増えるよう、今後も見直しよろしくお願ひします。

S・Tさん(下永田)60代女性



スマートフォンなどからの応募はこちら

Q. あなたが好きなコーナーはどれですか？(複数可)

- 1. 表紙
- 2. 特集
- 3. 行政 info
- 4. タウンピックアップ
- 5. 子育て連絡帳
- 6. チャイルドピックアップ
- 7. 健康だより
- 8. 図書館へ行こう！
- 9. お便りBOX
- 10. なすしおばら珍百景
- 11. ちっちゃな自然
- 12. 編集後記
- 13. げんきびと
- 14. ものづくり若人
- 15. 私のまちの近い遺産

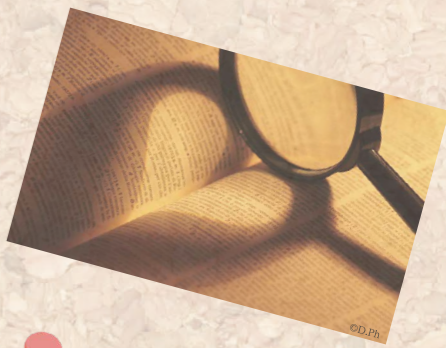
広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題や記事などをお書きください。

※いただいたご意見は、内容を変えない範囲で添削させていただく場合があります。
※紙面の都合上、掲載できない場合がありますのであらかじめご了承ください。



図書館へ行こう！

10月27日(土)～11月9日(金)は、読書週間です。
忙しい毎日の気分転換に、本を手にとってみませんか？



NEW!



『パフェ フルーツと盛り付けのテクニク』
編：柴田書店 柴田書店
人気店のパフェ75品が大集合！昔ながらの懐かしさはそのままに味も見た目も進化しました。豊富なカラー写真で作り方の工程を完全再現。眺めているだけで心が躍ります。

ぜんぶ食べたい！最先端パフェ



『トラベル・フォトレシピブック』
著：野寺治孝 玄光社
空気感まで伝わるような「最高の旅写真」が撮れるようになるガイドブック。風景・人物・食などのテーマ別に、被写体の見つけ方から撮影のポイントまで分かりやすく解説。

カメラを手に出よう



『葉室麟 洛中洛外をゆく。』
著：葉室麟・洛中洛外編集部 ベストセラーズ
50歳から創作活動を始め、66歳で急逝した遅咲きの作家・葉室麟。京都に3年間暮らした本人が名所や小説の舞台を巡ります。作品の世界をより深く味わえます。

歴史好きにも美術好きにもおすすめ！



『せいかかえるかいぎ』
作・絵：近藤薫美子 ポプラ社
「せいかかえるかいぎがあるらしい」うわさを聞いて世界中から集まったかえるたち。でも「せいかかえるかいぎってなに？」口々にかえるが鳴けば雨が降る…。

ユーモラスなエンドレス絵本



『なぜこうなった？あの絶景のひみつ』
文・構成：増田明代、監修：山口耕生 講談社
一度は行って見てみたい世界各地の絶景。どうやってあんな風景ができたのでしょうか。美しい写真とともに、大自然のダイナミックな不思議が楽しめます。

46億年の地球の営みってすごい！



『もうひとつの屋久島から 世界遺産の森が伝えたこと』
著：武田 剛 フレーベル館
日本で初めて世界自然遺産に登録された屋久島。でも、そのわずか11年前まで、大規模な伐採により貴重な原生林が次々に失われていました。森を守り、共に生きるとは…。

屋久島に移住した著者の渾身のレポートです

イベント情報

「読み聞かせのための絵本の勉強会」を開催します
「ナンセンス絵本」をテーマに、参加者が絵本を紹介し合います。

- ▶とき 11月7日(水) 午前10時～正午
- ▶ところ 黒磯図書館
- ▶対象 読み聞かせボランティアをしている人、絵本や読み聞かせに興味のある人
- ▶参加費 無料
- ▶定員 定員なし(申し込み不要)
- ▶その他 筆記用具、テーマに沿った本を持参してください
- ▶問い合わせ 黒磯図書館

休館情報

蔵書点検に伴う 黒磯図書館 特別休館のお知らせ
10月15日(月)～18日(木)

休館中の本の返却は、黒磯図書館正面玄関脇のブックポストを利用してください。なお、CD・DVDと他の市町村の図書館から借り受けた資料は、ブックポストではなく、開館日にカウンターに返却してください。

ちっちゃな自然
みつけた

NO. 162

自然を愛そう那須塩原

お祈りの儀式？
～ミズカマキリ～

ミズカマキリって？

体長5cmほどのタイコウチ科の一種。5月上旬から10月中旬にかけて、池や水田、時には学校のプールなどでも見られる。



水中を泳ぐミズカマキリ



祈りをささげる(?)ミズカマキリ 撮影時期:2015.5.24 撮影場所:三島

ミズカマキリは、その名のとおり水中に暮らす、カマキリにそっくりな昆虫です。見た目はカマキリに似ていますが、実はカメムシのなかまで、水中にすむことからアメンボやマツモムシなどとともに水生カメムシ類と呼ばれています。

ミズカマキリはあまり泳ぎが得意ではないため、普段は水草などに止まってじっとしています。褐色の細長い体は、枯れ草にまぎれて周りに気づかれにくいようです。ミズカマキリがひそんでいるところにヤゴやオタマジャクシが通りかかると、鎌のような前あしで瞬時に獲物を捕まえます。そして、ストローのような口を突き刺して体液を吸うのです。

ミズカマキリの腹の先を見ると、体長と同じくらい長い管がついています。これは呼吸管と呼ばれる管で、先を水面に出して呼吸をするためのものです。ミズカマキリの呼吸管は長さが一定ですが、タガメやコオイムシの管は伸び縮み可能な構造をしています。

さて、上の写真のお祈りポーズ。何をしているのかお分かりになりましたか？これは、空に飛び立つ前に、水上に出て体を乾かしているところです。ミズカマキリは水生カメムシ類の中でも飛ぶのが上手で、より良い水辺環境を求めて移動します。水上で静かにたたずむその姿は、まるで空に向かってお祈りしているように見えますか？

じゅんじ

編集後記

芸術の秋です。先日那須野の大地は、「市民劇団なすの」の皆さんの演技にとても感動しました。そういえば、数ヶ月前にその練習風景を取材していた時のこと。演者が1人足りないとの事で急遽台本の読み合わせに参加することに。演じる役は戦争に行く若者「茂吉」。全く経験のない私でしたが、変な汗をかき、セリフを噛みながらも、何とかその場をしのぐことができました。いつも妻から、戦前の人のようだと言われる私の坊主頭と痩せた体型が、この日は「臨場感があるね」と演出家の方からお褒めいただきました。(平石)

今年度も半分が終わり、もう振り返り地点なんだなと時の流れの早さを感じます。右も左もよく分からなかった1年前の自分と比べると、色々な人に支えていただいたおかげでカメラの使い方や少しづつ理解できるようになったり、文章を分かりやすく書けるようになってきた気がします。しかし今でも、また新しい壁が目の前に立ちだかって落ち込むこともしばしば…。そんな悩みも自分を成長させてくれ、いずれ血となり肉となると信じてこれからも頑張っていきます！ (生駒)

シリーズ vol.3 新庁舎

新庁舎建設計画地内の「地質調査」を行います

新庁舎建設における設計や施工に必要な地盤情報を把握するため、地質調査を行います。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

▶とき 10月下旬～11月下旬(予定)
▶ところ 前弥六南町7番12 他



©2018ZENRIN.DataCom- 地図データ©2018ZENRIN

Q なぜ、地質調査を実施するんですか？

A 新庁舎には、災害に備えた防災拠点の機能が求められます。市民の安全を守る新庁舎とするため、建設前に地盤をしっかりと調査します。



Q 騒音などは出ますか？

A ボーリング調査のときに多少音が発生しますが、可能な限り迷惑をかけないように作業します。

Q 調査結果はいつ頃分かりますか？

A 平成31年3月下旬の予定です。調査結果は、来年度以降の設計業務に活用します。

Q どのような調査をするんですか？

A 建設計画地内の5カ所のボーリング調査や模擬地震波の確認を行います。作業時は、フェンスの仮囲いや常夜灯を設置するなど、安全対策を行います。

0287(62)9254

今月の「なすしおばら珍百景」コーナーはお休みします。皆さんからご応募頂いた珍百景は次号以降で紹介いたします。

3 2 5 8 5 0 1

お手数ですが
62円切手を
貼ってください

那須塩原市役所
シティプロモーション課
「広報なすしおばら係」行

ご住所

那須塩原市

※掲載する場合は実名ではなく、イニシャルまたはペンネームで掲載します。

フリガナ
お名前

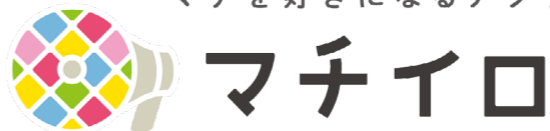
ペンネーム
(希望者のみ)

☎電話

年齢 歳 性別 男 ・ 女

行政情報アプリ「i広報紙」が「マチイロ」としてリニューアル!

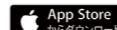
マチを好きになるアプリ



自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん!

- 1 役立つ行政情報を見逃さない!
- 2 自分に合わせた情報が届く!
- 3 いろいろなマチの魅力をお届け!

ダウンロードはこちらから



※「i広報紙」をご利用の場合、アップデートによって新アプリに切り替わりますので、新たにダウンロードする必要はありません。 ※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。 ※広告が表示されますが、各自治体とは何ら関係ありません。

マチイロに関する問い合わせは株式会社ホープ(092-716-1404)まで



塩原八幡宮(本殿)



※出典: 国土地理院ウェブサイト(<http://maps.gsi.go.jp>)地理院地図を加工して使用。



逆杉(国指定の天然記念物)

私のまちの
近い
世界遺産

さかさすぎ
塩原八幡宮の逆杉
～市で最初の指定文化財～

現在、市内には国・県・市の指定文化財が178あります。その中で一番初めに指定された文化財、国の天然記念物の「逆杉」を紹介します。

Topic

二番目の指定文化財は？

逆杉が指定されたのが昭和12年。2番目に指定年月日が古いものは何かというと、昭和33年(1958)に栃木県の有形文化財となった「温泉神社石幢(せきどう)」です。塩原の新湯温泉神社の脇にあり、鎌倉期から室町期にかけて盛んだった地藏信仰の供養塔です。



温泉神社石幢

「逆杉」は、塩原八幡宮の境内にあり、推定樹齢は1500年とされています。一般的なスギの木に比べ、逆杉は地面に向かって垂れた太い枝が多いことからこの名がついており、市内の現存する指定文化財の中では最も早く、昭和12年(1937)に国の天然記念物に指定されています。

この木は2本が並び立ち、根元でつながった姿をしています。根元

康平5年(1062)、源義家(八幡太郎義家)が奥州征討に向かった際にこの地に泊まり、戦勝祈願の祭壇を丘の上に作り、竹の代わりにスギ2本を植えたのが、この逆杉であるという言い伝えが残っています。また、源頼義・義家親

子がここで食事をとった際、箸の代わりに用いた杉の小枝を地面に逆さに刺したものが大きくなったという言い伝えもあるそうです。

西側の杉が雄木(樹高約40m)、東側の木が雌木(樹高約33m)と呼ばれており、古くから夫婦杉としても親しまれてきました。夫婦がお互いに助け合って成長する姿を思うと、縁結びのご利益もあるかも…?

ちなみに、逆杉のある塩原八幡宮の本殿も、市の指定文化財。塩原の歴史のストーリーを感じられる魅力的な場所となっているほか、パワースポットとも呼ばれています。